

ときも見守りネットワーク通信

～いざという「ときも」見守られている安心を～

令和2年11月30日
(不定期発行) 第4号
発行：川越市福祉推進課

登録事業者数 200 を突破！

令和2年10月31日現在、登録事業者数が206となっています。ときも見守りネットワークが始まって4年、「みんなでつくる福祉のまち川越プラン（第三次川越市地域福祉計画・第四次川越市地域福祉活動計画）」の目標値であった200を達成することができました。引き続き、ご協力をお願いします。また、この事業にご協力いただける事業者さまに心当たりがある場合は、お声がけくださるよう重ねてお願いします。



令和元年度の通報状況

主な通報理由	件数
新聞がたまっている	3
水道使用量	3
配達物がそのまま	3
様子がおかしい・心配	5
合計	14

令和元年度の通報件数は14件でした。対象者はいずれも単身世帯で、4人は残念ながら既に死亡していました。

郵便物や配達物が溜まっている、水道の使用量が多い（少ない）といったサインだけでなく、「しばらく顔を見ていない」「声を聞いていない」「生活感がない」といった、見落としがちなサインが通報のきっかけになっているケースもあり、ふだんからの目配りから、見守りの「芽」が成長していることがわかります。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、外出を控えている方が多くなっています。引き続き、異変を発見した際には、通報をお願いします。

ご存じですか？ 「川越市お帰り安心ステッカー」

市では、認知症等により在宅高齢者が行方不明となった場合に、早期に発見し、事故を未然に防止するため「川越市お帰り安心ステッカー」の配布をしています。対象は、市内在住の認知症等により外出時に道に迷うおそれがある在宅高齢者（要支援または要介護認定を受けている方）です。

ステッカーは、靴やサンダル、杖などに貼って使用します。対象者が身元不明で保護された場合、ステッカーの番号をもとに申請時に登録された連絡先に連絡します。

この事業を広く市民に知ってもらうため、今回の「ときも見守りネットワーク通信」にポスターを同封しましたので、掲示等ご活用ください。不明な点等は、地域包括ケア推進課（電話：049-224-6087）にお問い合わせください。

